

## 研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名：潜在的インターパーソナル情報の解読と制御に基づくコミュニケーション環境の構築

2. 研究代表者名及び主たる研究参加者名(研究機関名・職名は研究参加期間終了時点):

研究代表者

柏野 牧夫 (日本電信電話(株)コミュニケーション科学基礎研究所 部長)

主たる共同研究者

下條信輔(カリフォルニア工科大学生物学部 教授)

渡邊克巳(東京大学先端科学技術研究センター 准教授)

3. 事後評価結果

○総合評価コメント:

本研究では、円滑なコミュニケーションに不可欠でありながら軽視されてきた「非記号的・無自覚的、かつパートナー間の相互作用によって現れる情報(潜在的インターパーソナル情報、IIFI)」に着目し、通常の対面コミュニケーションよりはるかに高質で精神的・身体的に安全なコミュニケーションシステム的设计指針を得ることを目的としている。

行動データ、身体運動、脳活動、生理反応などの計測により IIFI の認知神経科学的基盤を解明し、IIFI の解読・制御する手法の確立について、無自覚的な動作や不随意的な生理反応から情動やコミュニケーションに関わる IIFI を特定、解読することでできることを示したこと、コミュニケーションに問題を抱える自閉症スペクトラム障害者を対象として、感覚系や運動系の特殊性を詳細に解明したことなど大きな成果が得られた。これらの成果は質、量ともに高いレベルで発表され、本領域及び本研究プロジェクトの目標に沿った高い基礎的、科学的成果であると認められる。

今後は、研究で得られた科学的知見を体系化し広めていくとともに、成果を現代の情報環境にも適用し、新しいインタフェース技術を実現するところまで発展させることを期待する。